

かまいし未来づくり委員会レポート

Vol. 1

令和2年2月5日
釜石市総合政策課
TEL:0193-27-8413

○かまいし未来づくり委員会がスタートしました！！

東日本大震災(釜石市復興まちづくり基本計画策定)から約9年が経過し、釜石市は、令和3年度からの新たな10年の「道しるべ」となる新しい総合計画を策定する時期に差し掛かっています。かつてない変化の時代に生きる我々にとって、市民と行政がともに知恵と力を出し合い協働することが、今後より一層求められます。

委員会の目的は、「市民が一から考えた総合計画を市長へ提言すること」と、「委員相互のネットワークを広げること」です。

※総合計画とは…

市のまちづくりの計画の基本であり最高指針です。

将来、釜石市をどのようにしているのかの「道しるべ」とも言えます。

昭和45年以降、約10年ごとに改定を行ってきました。



○まちづくりセミナー

委員会に先立ち、岩手県立大学吉野教授より「市民協働による未来への挑戦」についてご講演をいただきました。主な内容として、

- ・アイディアで地域を変え、将来の地域づくりに向けて、市民・企業・行政がともに守っていくものを明確化していくことが必要であること
- ・市全体の税収が減っており、公務員の数も身の丈にあったサイズにしなければならない。少ない公務員で「公務員がやるべきこと」「公務員でなくても出来ること」を分けて、地域づくりを進めること。
- ・いろいろな声を聞き、声を出せる場を作っていくかなければならないことなどがありました。



○委員会の構成

公募で62名の方にご参加いただきました。

今後、希望に基づき次の6つのグループに分かれて話し合いが行われます。

- ・保健福祉部会
- ・教育文化部会
- ・産業雇用部会
- ・生活環境部会
- ・危機対応部会
- ・地域づくり部会

これからは主に部会ごとの話し合いとなりますが、多様化する課題に対応するために部会を横断した話し合いなども予想されます。

また、委員長に青木健一さん、副委員長に市川淳子さんが選任されました。

委員の皆さんにはご多忙中と思いますがご参加いただき誠にありがとうございます。この場を借りて改めて御礼申し上げます。是非いっしょに頑張りましょう。

○委員長挨拶より

この会は、実際にこの地域で誰が何をしていくかについて、市民の私たちが主体的となり責任を持って考えるための大変な会だと思っています。企業、地域、社会すべてに対して自分がどう行動するかを考えることが「未来責任」だと思います。社会に対しての考え方も多様化しています。まず、まちがどうあるべきかを共有して前に進めていきたいと思いますのでどうかよろしくお願ひします。



○第2回 テーマはKPT(ケプト)!!

※KPT…keep(続ける),problem(問題),try(挑戦する)

第2回委員会は、①市の重点施策などの説明、②グループごとの話し合い「現状と課題、トライすること」を主として1/10に開催されました。

＜委員会の進め方＞

・総合計画策定の基本的な考え方

大きな社会環境の変化が訪れているため、「未来志向型」による課題整理を行いながら施策検討を進めます。未来志向型とは、来るべき未来を起点に、今何をすべきか前向きに検討することです。

＜市からのインプット(情報提供)＞

・かまいし絆会議の結果

市内小中学校の児童生徒の代表が集まり、「10年後の釜石市はどんなまちであってほしいか」「そのために自分たちが取り組めることはなにか」について話し合いを行いました。

・市の重点施策の説明

釜石市の全9つの部局から、「重点的に取り組んでいる施策の現状と課題」について説明を行いました。

＜委員会でのアウトプット(話し合いの内容)＞

各部会は、未来志向型で「try(挑戦)すること」に重点を置き、未来の釜石を描き始めました。

【保健福祉部会】福祉の不安って何?の洗い出しを行う。子ども、高齢者にフォーカスするが多分野で課題有

【教育文化部会】社会・地域との繋がりを重視①小～高までつながりある教育②釜石出身大学生との交流

【産業雇用部会】人材への投資が今後の産業と雇用に繋がる。U/Iターン・新卒者。就労に向けた資格取得

【生活環境部会】①公共交通の利便性の向上と利用者

拡大②フードロス問題等によるごみ削減など

【危機対応部会】①避難防災の意識付け②防災無線

③消防団④防災×〇〇(他イベントとのコラボ)など

【地域づくり部会】「人」にフォーカスし議論。若者・シニア

U/Iターン者などの人との繋がりをどうするか



※次回も引き続き話し合いが行われ、議論を深める予定です。



○運営スタッフをご紹介します。

コーディネーター:

アットマークリアス NPO サポートセンター鹿野順一さん

アドバイザー:

岩手県立大学総合政策学部長 吉野英岐教授

運営支援: 株式会社邑計画事務所

事務局: 釜石市 総合政策課

※この委員会と同時並行で、釜石市の副市長・部長による策定委員会や、若手職員による作業部会も活動しています。

○あとがき

かまいし未来づくり委員会は全11回(残り9回)です。4月末まで集中して話し合いを行った後、中間提言書をまとめ、さらに11月を目途に最終的な提言書をまとめます。

第3・4回委員会では、トライすることの掘り下げ・具体化や、(どの分野を)誰がトライするかなどについて話し合いをする予定です。※当レポートは月1回程度発行します。

